

## 平成22年度岡山県食品衛生監視指導計画に基づく 監視指導結果（概要）について

食品衛生法の規定により定めた「平成22年度岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき実施した監視指導、試験検査、自主管理の推進、リスクコミュニケーションの充実についての結果は、次のとおりです。

なお、この結果は県の計画に基づいたものであり、岡山市分及び倉敷市分は含まれておりません。

### 1 監視指導結果

飲食店、食品製造施設、学校給食施設等を対象に施設・設備の衛生管理、食品の衛生的な取扱い等の指導を実施した。

対象施設数	監視目標数	監視指導結果	目標達成率(%)
24,367	21,183	22,047	104

### 2 試験検査結果

#### (1) 収去検査<sup>注1</sup>

検査目標検体数	検査実施検体数	違反件数
3,000	3,492	6 <sup>注2</sup>

注1：収去検査とは、食品衛生法に基づき、流通食品を無償で譲り受け違反の有無等を確認するための行政検査である。

注2：違反の内容は、アイスクリーム類の規格違反4件（乳脂肪分規格値不足1件、一般細菌数超過1件、大腸菌群検出2件）、添加物の違反2件（国内で使用が認められていないTBHQを菓子から検出、たれ製造時に使用ができない安息香酸ナトリウムを焼肉のたれから検出）であり、原因究明及び再発防止の指導等を行った。

#### (2) 腸管出血性大腸菌対策

県内に流通する食肉野菜等を対象に、腸管出血性大腸菌の汚染実態調査を実施し、加熱用牛ホルモンミックスからO157を検出した。

検体数	検出	不検出
195	1	194

#### (3) 買上検査

検査区分	検査項目	検査目標 検体数	検査実施 検体数	検査結果
有害物質モニタリング調査	重金属・TBTO・PCB	62	62	—
遺伝子組換え食品検査	遺伝子組換え食品	30	32	すべて適
アレルギー物質の検査	アレルギー物質	20	20	すべて適
輸入食品等買上検査	農薬・動物用医薬品	90	90	すべて適
輸入原材料等買上検査	農薬	30	30	すべて適

#### (4) 食品苦情及び食中毒発生時の原因究明のための検査

	検査実施検体数
食品苦情検査	177
食中毒検査	135

(5) と畜検査

区分	検査頭数	全部廃棄頭数	一部廃棄頭数
牛	4, 638	112	1, 997
馬	2	0	0
豚	391	1	167
めん羊・山羊	2	0	1

(6) BSE等スクリーニング検査（全頭検査）

検査頭数	陰性	要確認検査
4, 640	4, 640	0

### 3 自主管理の推進

広域流通食品等事業者を中心に自主管理体制の整備等について指導を実施した。

岡山県食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例に基づく自主回収の報告が7件あり、回収措置が適正に行われるよう指導した。

### 4 リスクコミュニケーションの充実

食品の摂取によって人の健康に悪影響が起きるリスク（危険性）について正しい理解を広めるため、講習会等を通じた情報提供、消費者、食品等事業者、行政相互間での情報交換、意見交換等を実施した。

(1) 食の安全相談窓口での対応 2, 442件

(2) 衛生講習会の開催

対象者	実施回数	参加人数
営業者・従事者	66	3, 011
集団給食従事者	36	1, 659
一般消費者等	57	2, 149
計	159	6, 819
体験型講習会(再掲)	66	2, 624

(3) 視察型研修の実施

(社)岡山県食品衛生協会への委託による事業 5回(227人)

(4) 食の安全サポーター拡大事業

登録者数：55団体

配信回数：7回

(5) リスクコミュニケーターの養成、育成

講座、研修会等の開催：7回

参加者数：122名